

平成23年度 外部評価書

学校名	和歌山市立名草小学校
作成日	2012年3月2日

1 教育目標

「学ぶことを楽しむ子」について: 失敗する経験も大事である。子供が自分の力で挑戦し、その結果が失敗であったとしてもそこから学ぶことは大きい。チャレンジする子供であってほしい。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標	1 学校の情報提供 2 地域との連携 3 教育ボランティア等の協力	1 教育環境の整備 2 道徳教育の充実 3 読書活動の推進 4 特別活動の精選と内容の充実	1 基礎的基本的内容の確実な定着 2 算数科指導を通して、思考力の育成 3 現職教育の充実

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に協力したいと考える地域の方のなかで、日常的に活動できるのは年齢の高い方が多い。学校の情報は、HPよりも回覧される学校便りが主である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちを大事にするなど、心を育てる教育として道徳の授業は大切にしてほしい。 ・学校行事の見直しについて、具体的な内容はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の中には、ひたすら覚え込まなくてはならない内容もある。自主性を重んじることも大事だが、しなければならないことがあるということをお教えるのも必要である。
(評価結果) 取組の成果と課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子供のために協力したいと考える地域の人が多い。行事予定等を早い時期に学校便りに記載すると新学期すぐにも登下校時の見守り等の応援をしていただける。 ・地域の人を対象に給食の試食会を行うことも、ひとつの方法であろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正門付近の花壇の整備は、きれいにできている。 ・学校行事を、目的と内容を検討して見直すことは、教育の活性化につながると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な取り組みをしている学校の訪問後や研修会への参加の後、互いに情報を共有する機会をもち職員全員に還元することが大切である。 ・バランスのとれた学力の向上に向けて、指導方法の工夫改善に今後も継続した取り組みが大切である。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事は、できるだけ早く学校便りで知らせるように努力して欲しい。 ・地域の人が学校へ出向く機会として、試食会の対象を保護者から広げることも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験をさせるときに、失敗体験もふまえ、それを乗り越える強さを養う指導も取り入れる必要を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人が研修したことを、全員が学べるよう、一層の活性化を期待している。

4 その他のご意見

・防災教育を特別に取り上げ、教育内容に位置づける必要がある。災害発生の状況に応じて、適切な判断ができるよう日頃から計画的な指導をしておかなければならない。
 ・学校を良くするアンケートの結果をふまえ、少しでも改善されるような取り組みを、今後も具現化していかなければならない。